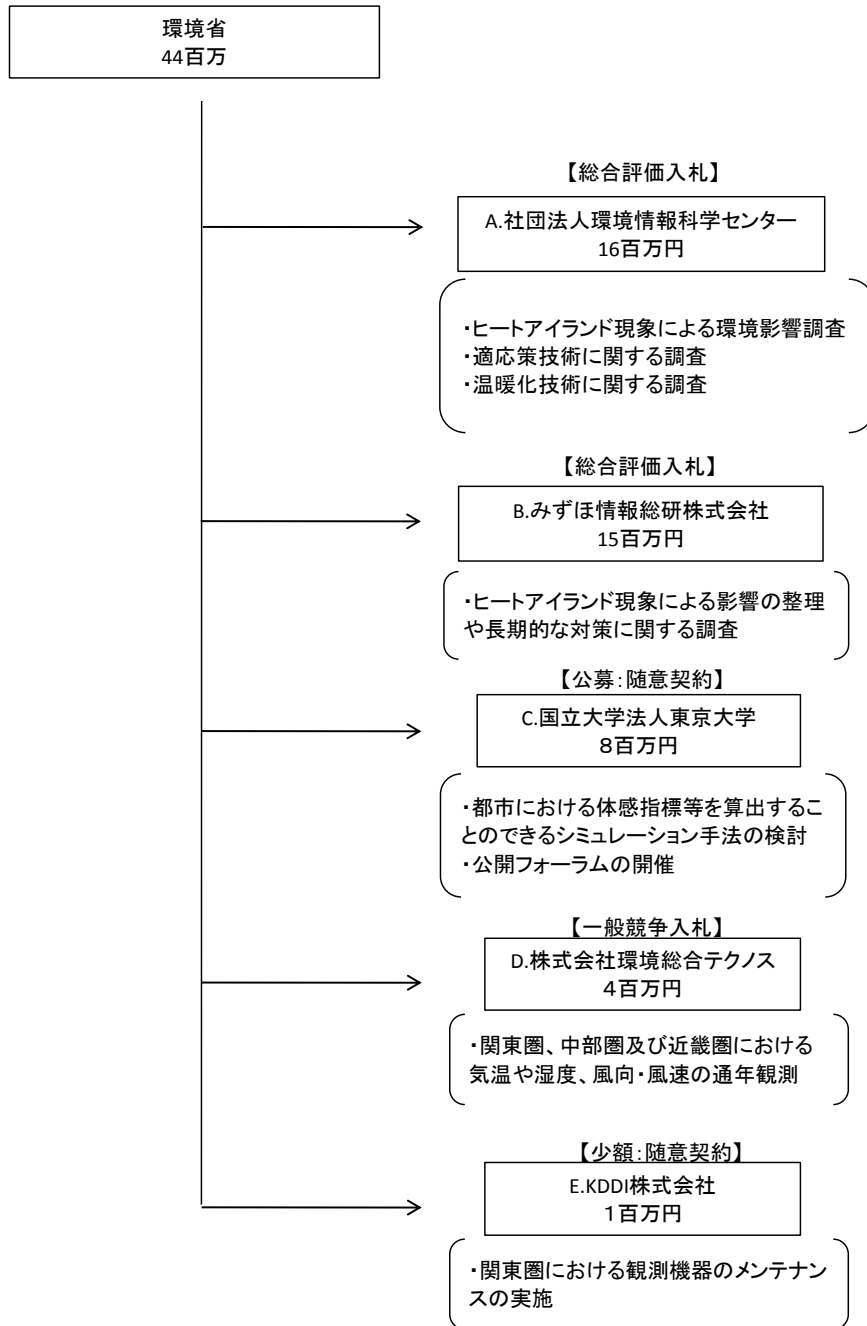


行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	ヒートアイランド現象に関する実態把握及び適応策検討		事業開始年度	平成18年度	作成責任者	
担当部局	水・大気環境局		担当課室	大気生活環境室	大気生活環境室長 土居健太郎	
会計区分	一般会計		上位政策	大気・水・土壌環境の保全		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ヒートアイランド現象による人、大気環境等、環境への影響の定量的把握、同現象のメカニズムの解明に向けた観測、適応策の検討等の各種調査を実施し、地方公共団体や民間企業等における各種ヒートアイランド対策の具体的な推進につなげる。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ol style="list-style-type: none"> <li>ヒートアイランド現象による環境への影響について調査する。また、①適応策技術の詳細や効果、②地球温暖化対策のヒートアイランド効果、について知見を整理する</li> <li>都市におけるSET(新標準有効温度)等を推計することのできるシミュレーション手法を検討する。また、公開フォーラムを開催する。</li> <li>ヒートアイランド現象に関する長期的な対策に関する調査を実施する。</li> <li>関東圏、中部圏及び近畿圏における気温や湿度、風向・風速の観測を実施する。</li> </ol>					
実施状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>ヒートアイランド現象による人への健康影響等の影響について、文献調査と併せて専門家にヒアリングを実施することにより、最新の知見をとりまとめた。また、適応対策技術として霧噴射装置を採り上げ、文献調査と併せて、専門家・取扱メーカーにヒアリングすることにより、同技術に関する概要、気象条件による緩和効果の違いについてとりまとめた。さらに、太陽光発電等の5種類の代表的な温暖化対策技術を採り上げ、CO2削減効果とヒートアイランド緩和効果について文献調査や有識者・メーカーへのヒアリング等により知見を整理した。なお、調査の実施に当たっては外部有識者による検討会を2回開催し、最新の研究動向について議論等を実施した。</li> <li>体温熱生理応答評価モデルや緑化評価モデルについて、建物、樹木等のデータをモデル上で取り扱う方法について検討した。また、平均放射温度等の指標を用いて、対象街区の「現状」、「緑化可能空間に最大限緑化したケース」、「建物と緑化を効率よく配置したケース」で計算を実施、具体的な検討事例を示しながらモデルの活用方法を整理した。さらに、ヒートアイランド対策に関するこれまで蓄積した知見について公開フォーラムを開催し、発表した。なお、調査の実施に当たっては外部有識者による検討会を2回開催し、モデルの妥当性等について助言を得た。</li> <li>ヒートアイランド現象の現状・影響を整理した上で、高性能工業炉・ボイラーの導入、電気乗用車の普及等の人工排熱対策に関して、長期的な対策導入効果の試算に係る検討を行った。なお、調査の実施に当たっては外部有識者による検討会を2回開催し、対策導入効果の試算方法等について助言を得た。</li> <li>関東圏については10分間隔、中部圏・近畿圏については30分間隔で気温等の観測を通年で実施した。それぞれの観測機器について、基準温湿度計との比較を行い精度の確認を行った上で実施している。</li> </ol>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	66	57	50	47	47
	執行額	60	48	44		
	執行率	91.0%	84.2%	88.0%		
	総事業費(執行ベース)	60	48	44		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>有識者による検討会を開催し、検討会での助言を踏まえた上で、技術的検討を行った。また、検討会前には環境省担当官と十分な打合せを行った。</li> <li>有識者による検討会を開催し、検討会での助言を踏まえた上で、技術的検討を行った。また、検討会前には環境省担当官と十分な打合せを行った。公開フォーラム開催に当たって、事前に当日の流れについて綿密な打合せを行った。また、事前にフォーラム会場でも打合せを行った。なお、公開フォーラムには約130人の参加があり、開催後のアンケートでも概ね高評価であった。</li> <li>有識者による検討会を開催し、検討会での助言を踏まえた上で、技術的検討を行った。また、検討会前には環境省担当官と十分な打合せを行った。</li> <li>観測に不具合が発生した場合、請負者から速やかに報告と対応方法について連絡を受ける体制をとり、観測を実施した。</li> </ol>				
	見直しの余地	今後は、地方公共団体や民間企業等が各種ヒートアイランド対策を積極的・効率的に進める際に必要となるデータ・知見に焦点を絞り、より効率的・効果的に調査を進めていく。				
予算監視の効率化	一部廃止 (基礎的なデータの蓄積は十分達成されたため、広域的な気温等の観測事業については平成22年度限りで廃止。)					
補記						

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)



費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. 社団法人環境情報科学センター			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	ヒートアイランド現象による環境影響等に関する調査業務	16			
計		16	計		0
B. みずほ情報総研株式会社			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	ヒートアイランド対策に係る長期シナリオ検討調査業務	15			
計		15	計		0
C. 国立大学法人東京大学			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	ヒートアイランド対策による人体への温熱生理応答評価等に関する研究業務	8			
計		8	計		0
D. 株式会社環境総合テクノス			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	ヒートアイランド現象把握に関する広域測定方法の検討及びデータ収集・編集等業務	4			
計		4	計		0